

令和3年度大学入学共通テスト

変更重要点を一挙解説!!

現3年生が受験する令和3年度「大学入学共通テスト」は、従来の「大学入試センター試験」からどのような点が変わるのか、わかっていないあなたのために解説しちゃいます。

1. 思考力が問われる

センター試験が主に教科書内容の基本的な知識・理解を問うものであったのに対し、共通テストでは**思考力が求められる問題が重視**されます。その結果、2度にわたって実施された試行テストではどの科目も複数の資料やグラフ等の読み取りから問題を構成することが多くなり、解答するまでに多くの時間が必要になっていました。特に国数英は**慣れていないと時間不足になる危険性が大きい**でしょう。模試などで時間配分を考えて解答する習慣をつけることが大事です。

2. 数学①の試験時間がセンター試験の60分から70分に拡大

今回、唯一試験時間が変更されたのが「数学①」。この科目は理系の諸君はもちろん、国立大を受験するほとんどの生徒が受験する「数学Ⅰ・数学ⅠA」なのですが、配点は変わらず100点満点なので、この変更は**“今までよりも思考力を問う難しい問題にするぜ!”**と宣言しているようなもの。とは言え、当初は予定されていた記述問題の導入が見送られたので、模試などで問題形式に慣れてくれば大丈夫。逆に、同じ数学なのに試験時間が変わらない「数学②」(数学Ⅱ・数学ⅡB)は“従来と同じように出題するぜ!!”と言っているように私には聞こえます。

3. 理科②の選択問題がなくなる

理系の生徒が受験する「理科②」(物理、化学、生物、地学から2科目または1科目を受験)ですが、それぞれの科目にあった**選択問題が設定されません**。これも思考力重視のために1つ1つの問題が長くなり、受験生が限られた時間の中で問題を吟味して選択することが不可能だからでしょう。

4. 英語の名称、試験内容、配点が変わる

センター試験の「英語(筆記)」が「**英語(リーディング)**」と名称が変わり、**発音・アクセント・語句整序などの単独問題は出題されない**ことになりました。英語表記も場面設定によってはイギリス英語も使用するとしています。また、センター試験では「筆記200点・リスニング50点」だった配点が「**リーディング100点・リスニング100点**」に変更されます。ただし、各大学が入学選抜における英語成績の利用比率を自由に設定できるので、受験大学の選抜要項の確認が必要(リーディングとリスニングの配点比率が**従来と同じ4:1か、得点そのままの1:1**が大半)。なお、リスニングについては、センター試験では全ての問題の音声を2回ずつ流していましたが、共通テストでは**1回しか流さない問題もある**と公表されています(全6問中、第1問・第2問は2回流すが、第3問以降は1回のみ)。というわけで英語のリスニング能力の向上はどうしても必要ですので、毎日英語を聴く時間を作っておきましょう!



教育実習生が来ているぞ… 大学のことを教えてもらおう!!

3年次生は志望校を目指してよいよ本格的な受験生となる時期が来ました。1・2年次生も文理選択や科目選択を控え、自分の将来の進路を考える時期です。そんな時に絶好のタイミングで教育実習の先生方が来ています。いつもなら6月に行われることが多いのですが、今年はコロナの影響で教育実習もこの時期にまとめて行われることになったのです。彼らは皆現役の大学生…この機会に大学の様子を教えてもらいましょう!まずは、どんな教生の先生がどの大学から来ているか紹介します。なお、教育実習生の控室は「大会議室」となっていますので、昼休みなどに尋ねてみてください。

氏名	大学/学部/学科	科目	HR	高校時代の思い出	大学での学生生活
たきもとゆうき 滝本 勇貴	東京理科大学 理学部第一部 数学科	数学	1-4	春季大会でベスト4に残れた部活動が強く印象に残っています。また、サブリーダーに任命されたことも印象深いです。	純粋数学4分野の中の解析学を専攻。今後は偏微分方程式について研究する予定ですが、幾何学や代数学の講義も履修しており様々な角度から数学を勉強中。なお3年までは硬式野球部で頑張りました。
かげやまじゅんと 影山 準人	東海大学 文学部 歴史学科	世史	2-4	3年次の時に実施された競奏祭が印象深い。特に2日目の文化祭部門で行った演劇で熱演をしたが会場全体が冷え切った。	ヨーロッパの歴史を勉強するためには英語の読解力が不可欠なので必死に英語を勉強しました。さらに専攻科目以外でも、法律学・政治学・絵画技法など多岐にわたって勉強しています。
ときざき しほ 鶴崎 志歩	都留文科大学 文学部 社会学科	現社	1-2	硬式テニス部に所属し、関東大会に出場する事ができた、というのが一番の思い出。今でも同期の部活仲間と会います。	体育会ソフトテニス部に所属し、昨年は山梨県代表として国体に参加しました。勉学では特に子供の貧困について研究していて、現在の格差社会をどう解消していくかを自分でも模索中です。
いぐさ けんご 井草 賢悟	大東文化大学 スポーツ健康科学部 スポーツ科学科	保体	1-6	野球部で毎日練習してました。一緒に頑張った仲間とともに、県大会でベスト4という結果を出せたことが一番の思い出。	埼玉県の東松山キャンパスという、自然に囲まれた場所で大学生活をしています。大学ではゴルフ部に所属して頑張っており、授業の方では動作分析を専門とするゼミで体の動かし方を調べています。
あらか さあや 荒木 紗綾	日本女子 体育大学 体育学部 運動科学科	保体	1-5	チア部に所属し、全国大会で2位になれました。学校が大好きで、体育の授業が楽しかったのが教員を目指したきっかけ。	女子の体育教師育成を目標に創設された大学なので、授業もしっかりしており教師を目指すには最適な大学。現在はスポーツ心理学の研究室に入り、卒業研究でチアをしている人を対象に調査中です。
くりばら ゆき 栗原 由樹	女子栄養大学 栄養学部 保健栄養学科	家庭	1-3	高校入学と同時に始めた硬式テニスを3年間続けられたことが一番の思い出であり、充実した日々を過ごせた私の原点です。	女子栄養大学は主に栄養学に特化した大学で、在学中にそれに関する資格を取得できるところが魅力と言えます。私も在学中に1つでも多くの資格や免許を取れるよう努力しています。